

生後2週間からの顔面湿疹と感染を経て幼稚園生活が可能になった小児アトピーの経過 (4歳男児)

症例 ID：001-04-MT4 | 記録日：2016年7月13日

1. 診断・治療前経過

生後2週間から目周囲、額、頬に湿疹が広がりました。生後3か月頃から約1年間、顔を中心にステロイド外用薬を使用しました。

ステロイド中止後は自己流の治療を続けましたが、季節ごとの悪化と掻破が続き、細菌感染を伴って2014年5月に受診しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	生後3か月頃から顔を中心にステロイド外用薬を使用しました。
製品名	製品名は不明です。
強度	不明です。
使用期間	約1年間です。
中止時期	受診の約1年2か月前です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後2週間	発症	目周囲、額、頬に湿疹が出始めました。
生後3か月頃～約1年	ステロイド使用	顔を中心に外用を続けましたが、十分な改善は得られませんでした。
中止後約1年2か月 2014年5月9日	自己治療 治療開始	季節性の悪化と掻破が続き、細菌感染を伴いました。 漢方入浴、煎じ薬、外用薬、抗菌薬を開始しました。
治療1週間後	症状の強い時期	掻いていなくても顔から浸出液があふれる状態となりました。
その後	症状の波	強い状態は数日で軽減し、季節や体調に伴う軽い湿疹を繰り返しました。
治療1年半頃	入浴終了	漢方入浴を終了しました。
治療2年2か月	経過後	日中の掻破は機嫌不良時や眠い時に限られ、幼稚園へ通っていました。

4. ピーク時期

ピークは、受診前の顔面感染と、治療開始1週間後に掻いていなくても顔から浸出液があふれた時期です。

5. 困りごと

- 顔面の強い湿疹と掻破が季節ごとに繰り返されました。
- 治療初期は入浴、消毒、外用処置を家族で続ける必要がありました。
- 記録時点でも夜間に起きることがありました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



生後半年頃の顔面。



受診約 2 週間前の顔面。



受診 1 週間後の顔面。



2 歳 4 か月頃の顔面。

7. 経過のまとめ

治療開始 1 週間後の強い浸出期は数日で軽減し、その後は季節や体調による軽い湿疹を繰り返しながら改善しました。4 歳半時には日中の掻破は機嫌不良時や眠い時に限られ、幼稚園生活を送っていました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。